10月園だより

きりすとこどもえん

２０２３年度 年主題〈ともにつむぎだす～希望の中で～〉

0･1･2歳児１０月主題 「たのしいね」「ひろがる」

月のねがい

◎保育者と一緒に祈ったりさんびかを歌ったりする。
◎友だちや保育者との関わりを楽しみながら、存分に遊ぶ。
◎友だちと興味のあることや面白いことを一緒にして、つながりを感じる。
◎季節の変化を感じ、楽しむ。

3･4･5歳児１０月主題 「つながって」

月のねがい

◎神さまがつながってくださっていることを覚え、安心して過ごす。
◎体を動かすことを楽しみ、少しずつちょっと難しいことや初めてのことをやってみようとする。 ◎明日への期待や、目的をもって遊ぶ姿がふえ、試行錯誤しながら工夫したり、互いにアイデアを出しあうようになる。
◎一緒に過ごす中で友だちの良いところ、楽しいところに気づく。

今月の聖句 喜んで与える人を神は愛してくださるからです。

Ⅱコリント書9:7

神さまはすべての人間に自由意志をお与えになりました。その自由意思によって、人間が自分のもっているものをどのように使うかを自由に決められます。ある人は、自分のもっているもの（本当は神さまから預かっているもの）に飽き足りず、他人のものも奪おうとします。またある人は、自分のもっているものを、他の人に分け与えようとします。不思議なもので、奪おうとすれば、いつまでたっても満ち足りることはありません。ところが、進んで与えれば、心に平安が訪れます。もちろん、与える人のなかには、「しょうがないな。今度だけだよ」と、たいへん迷惑そうに応じる人がいます。「何か後で、見返りがあるのかな」と露骨に口にする人もいます。そういう人は喜んで与える人ではないので、どんなに大金を支払っても、またどんなに小額でも見返りがなければ損をしたと思うだけでしょう。ところで、自分のもっているものとは、お金や富だけではなく、自分の能力、時間も含みます。世の中には自ら進んで、見ず知らずのご老人や障害をもたれている方を訪問して世話をしたり、道路脇や公園のゴミを拾い集めたりしている人がいます。こういう人は金銭的に無報酬でも働くのです。しかも、喜んで・・・。報酬は、物質的なものではなく目には見えません。報酬は、神さまに愛され祝福を受けることです。 協力牧師 池田基宣

１０月の行事予定

7日（土）	第６６回運動会
9日（月）	運動会予備日
10日（火）	１号児振替休日
19日（木）	秋の遠足(3才児以上)
20日（金）	秋の遠足(0･1･2才児)
21日（土）	めぐみ誕生会
26日（木）	おにぎり･ｽｰﾌﾟﾊﾟｰﾃｨ
28日（土）	父母会おまつりごっこ

１１月の行事予定

9日（木）	10､11月誕生会(2才以上)
10日（金）	給食バイキング
15日（水）	持久走試走
18日（土）	持久走大会･職員研修
20日（月）	持久走予備日
25日（土）	入園説明会
29日（水）	ｸﾘｽﾏｽ会予行・弁当日

運動会、頑張るぞ！

2学期が始まり1ヶ月。まだまだ残暑が厳しい中ですが、毎日のように運動会のお稽古を頑張っている子どもたちです。
先日は予行練習があり、前日には皆でパワーをため、「頑張るぞー！」「オー！」とかけ声で気持ちも高めました。0,1,2歳児は、かけっこで名前を呼ばれると、元気に「はい」と返事をします。3.4.5歳児は綱引き、園児リレーと、友だちと一緒に力を合わせて成し遂げられるよう懸命に取り組んでいます。

園児リレーでのこと。暑さと疲れもでてバトンを待っている位置で座り込んでしまったK君。バトンを受け取っても立って走る気配はありません。保育者も友だちも、K君に少しでも走って欲しいという気持ちが一致したのか、「頑張れ！K～君！！頑張れ！！K～君！」と、声援が自然に湧き上がりました✨共に一つのことを成し遂げようとする過程が垣間見えた瞬間となりました。

今年度のテーマは「ぼくら探検隊～みんなでみつけたたからもの～」です。子どもたちが目を輝かせて遊び込めるような環境づくりを目指して、保育者も日々探求を続けています。予行練習ではこどもたちと保育者のK君に対する応援の思いが重なり、心温まる気持ちを共有することができました。みんなで見つけた素敵な宝物のように感じたのです。運動会の当日も、子どもたちや保護者の皆さんと共に、目に見えない大切な宝物を見つけて喜び合えたらと願っています。勝ち負けもある運動会ですが、元気いっぱいに体を使うことができるという素晴らしい恵みに感謝したいものです。

今年度はコロナ禍前に戻って、観客制限もなく、お弁当の時間もあります。朝早くからの準備も大変だとは思いますが、子どもたちの大好きなお弁当に、愛のパワーを注入して下さいね。当日はたくさんの声援をいただきながら、子どもたちの喜びや悔しさの表情の中に、成長した姿を楽しんでいただきたいと願っております。そして、どうかいい天気になりますように…。

伊豆元

「おもしろさ」が子どもを育てる

しばらくなりを潜めていた台風。ここに来て十四号が発生しました。昨年の同時期には十八号だったので、今年は少なめでしょうか。ここ数日好天が続く中で、一段と朝夕が涼しく感じられるようになりました。まだまだこれから大きな台風が来ないとも限りませんね。何はともあれ、公園でも体育館でも、無事に運動会が開催できますよう祈り続けます。

皆さんは幼い頃、自分にとっての「おもしろいもの」「おもしろいこと」は何でしたか？虫捕り、花摘み、ゲーム、木登り、人形遊び、ごっこ遊び、絵本、歌、楽器・・・様々な個人的な「おもしろさ」が、大人になった今、職業や趣味などに多少なりとも引き継がれているかもしれませんね。

ご存じのとおり、乳幼児の成長に「遊び」は欠かせないものです。遊びは、「おもしろさ」を追求する活動とも言えます。遊びを通して発達する子どもは、「おもしろさ」を探求する存在ではないでしょうか。『子どもの中に形成される「おもしろさ」には三種類あり、それらには一定の順序性・法則性を持ちながら発達することを認識してほしい』と山梨大学の加藤繁美先生が指摘されています。 一つは、知的探究心を基にした「認知的おもしろさ」の世界です。ダンゴムシに興味を持った三歳児が、ひたすら採集し観察を続け、泥団子作りの世界を知った四歳児が、固い光った泥団子を作るべく探求していく姿に見られるものです。 もう一つは、愛着と共感の感覚を基にした「情動的おもしろさ」の世界です。保護者や保育者にあやされる「心地よさ」から始まる情動は、やがて絵本や音楽への世界へと導かれていきます。物語や音の世界に心を震わせながら共感的な知性が発達していきます。そして、この二種類の「おもしろさ」を自分の中で統合し、ごっこ遊びや秘密基地づくりに夢中になったりする「創造的おもしろさ」の世界を生きるようになるとのことです。

子どもが自分の見つけた遊びの世界に入り込み、夢中になっているときに、大変機嫌のよい姿に気付かされます。表情は明るく、真剣で、言葉は優しく聞こえ、満足感を見ることができます。しかし、大人は遊びの形や展開に目が向きがちです。子どもの未発達で未熟な部分に目が向かい、大人に近づくことを良しとする発達観から来るものだと思います。私たちは、子どもは「楽しい」「嬉しい」「おもしろい」という感情が、思考や行動の最初にあるということを忘れてしまう生き物なのです。それ故、ダンディーマンモスのマジックで、耳が大きくなったり、お尻から百円玉が出てくる時に見せる驚愕の表情に感動するわけです。

子どもたちがもっとも活発な活動を展開する実りの時期になりました。ゆっくりと周囲の自然を観察しながら落ち着いた時間を満喫したいと思います。大きな行事の運動会を迎えますが、何よりこどもたちのしたいことを通して、いのちはずむ時となることでしょう。早寝・早起き・朝ごはんをよろしくお願いします。

学園長

免疫力を高める４大習慣！

暑い夏が終わり、最近では朝晩がだいぶ涼しくなってきました。新型コロナ感染症やインフルエンザなどに加え、手足口病や、ヘルパンギーナなど、次々と感染症が広がっているようです。コロナ禍で衛生環境が良くなった反面、免疫力も弱くなってきているようです。 では、子どもたちに免疫力を付けるには、どんなことを意識して生活すると良いのでしょうか。一緒に考えていただけると幸いです。

〔Ⅰ〕タンパク質で筋肉を付ける

白血球に免疫を担当する細胞が集まっています。体温が上がると血流が良くなり白血球が体中を巡り免疫力が発揮されます。筋肉は常にエネルギーを代謝して熱を作りますですからタンパク質をしっかりとって筋肉を付けることが大切です。

〔Ⅱ〕いろんなおかずを食べる

”まごわやさしい”

日本の昔からある健康的な食生活の合い言葉です。いろんな食材を取り込み、免疫力を高めましょう 。

〔Ⅲ〕太陽の光を浴びる

コロナ禍で外遊びの機会が減ってきました。それにより太陽に当たらない子どもも増えてきました。
太陽の光（紫外線）を３０分程度の散歩などをして浴びることで、〔ビタミンD〕が体内で自ら合成できるのです。

ビタミンＤは自己免疫疾患、感染症の発症予防に関係するのです。朝夕の暑くない時間帯に、散歩などの習慣を付けておくと免疫も上がる体質になるようです。

〔Ⅳ〕睡眠を十分にとる

睡眠不足は免疫力を低下させます。早稲田大学人間科学部の前橋明教授によると、たくさん体を動かし、睡眠のリズムが整えば、自律神経の働きがよくなって、低体温などの体温異常が減少するといいます。
しっかりと体を動かして、たっぷりと睡眠をとることで体温が安定し、免疫力が高まります。

園長